

令和2年度米子市美術館協議会議事録（概要）

開会（14：00）

下高文化振興課長 挨拶

議題1 令和2年度米子市美術館事業報告について

（中村館長が資料に沿って事業報告を行う。以下、補足。）

・特別企画展（生誕110年記念 異才 辻晋堂の陶彫）今年度、最初の大きな展覧会となった。コロナ禍での開催であったが関連事業も実施できた。

・特別共催展（フォーエバー現代美術館コレクション 草間彌生 展）は、一番注目されていた展覧会であったが、開催直前の、新型コロナウイルス感染症の拡大（4月の緊急事態宣言）にともない、開催の中止（延期）を、米子市、新日本海新聞社、米子市美術館の三者で協議決定した。

・臨時企画コレクション展（美術館スタッフが選んだ！米子市美術館コレクション15選）は、中止となった特別共催展「草間 展」の期間中に第2展示室で開催。臨時休館明け急遽の展示であったが、多くの方に来ていただくことができた。

・市展（6月開催予定）については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、開催の可否について要項製作依頼（4月20日）前での決断が必要となる。そのため、市展運営委員へアンケートを送付。回答結果により、中止（延期）を決定した。

・若手作家支援展（マツダケン展 みせられるもの）現在開催中の展示ですが、同時期開催中の貸館展示（青巳はなね Over floW、谷ロジロー展）との相乗効果もあり、多くの方に来ていただいている。

・総入館者数は、約27,000人と、昨年同時期の約92,000人に比べかなりの減少となっているが、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う、事業（展覧会）の中止とあわせて、美術館最高入場者数を記録した「チームlab」が含まれるものとの比較による結果です。

・貸館事業（利用件数・利用者数）の減は、今年度前半の新型コロナウイルス感染症拡大による開催控えがあったためです。

・貸館事業（利用料収入）の増は、利用件数は減ったが、例年、年明けに開催されているジュニア県展が12月からの開催だったため、その貸館料が入ってきたためです。以上で報告を終わります。

（高増会長）報告ありがとうございます。今年度は、コロナ過での美術館運営となり大変であったと思います。今年度中止となった「草間 展」を、来年度開催予定されているが、

展示内容等の変更はありますか。

(美：中村館長) 基本的に同じ内容で実施予定です。延期となったことで、逆に貴重な作品を展示できるかもしれません。

(鐘築委員)「草間 展」が中止(延期)となり、とても残念だったが、その代わりに急遽企画された「臨時企画コレクション展」は、とても良かったと思います。

(三浦委員) コロナ禍で集客も大変だったかと思います。昨年度は「チーム lab」などの開催もあり、比較としては大幅な入場者の減となっているが、その前の年と比べると入場者増減についてはどうでしょうか。

(美：中村館長) 今年度一番注目されていた「草間 展」が中止となりましたので、その分は減っています。

(金田委員) ご意見よろしいでしょうか。前回も思ったことですが、報告が、協議会の開催までのものとなるので、いつも年明け後は、どのような事業がどのような形で行われたのか、どのくらいの入場者数だったなどが分からず、もやもやしている部分がある。

(美：中村館長) 協議会が2月に設定されているため、このような報告となっています。

(事務局) 次年度以降は、年明け以降の事業についても報告できるように改善したい。

(高増会長) ありがとうございます。他には何かございませんでしょうか? ご意見ないようでしたら、議題(2)の令和3年度事業計画について美術館から説明をお願いします。

議題2 令和3年度米子市美術館事業計画について

(青戸副館長が資料に沿って事業計画について説明を行う。以下、補足。)

・特別企画展(木下翠雨展)について、没後75年を迎えるタイミングで開催する。米子での開催後(秋頃)に、日南町美術館でも木下翠雨を中心とした企画展を予定されている。

・特別共催展(フォーエバー現代美術館コレクション 草間彌生展)について、中止となった「草間 展」をスライドして予定しています。基本的には当初と同じ内容で実施の予定です。コロナ過での開催となるので、ソーシャルディスタンスにも配慮し、作品の予定展示数を、約130点だったものを、約100点として調整中です。

・コレクション展について、これまで「常設展」と呼んでいたが、実際は常設となっておらず、収蔵品の期間展示ということで、呼称を「コレクション展」とします。

・ミュージアムスクールの「軸の扱い方」については、参加者に軸を手にとってもらい扱い方を学んでもらう予定です。「ワークショップ」については、講師を郷土作家支援展の朝倉弘平氏に、秋頃開催で依頼しようと考えています。

・ギャラリートークについて、これまでは「土曜講座」としてギャラリートークを実施していましたが、呼称を「土曜講座」から「ギャラリートーク」に変更します。

・博物館実習の受入について、受入予定ですが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況によります。現段階で、3人の学生から問い合わせがありました。以上で、令和3年度事業計画の説明を終わります。

(高増会長) ありがとうございます。ただいまの内容について何かご意見、ご質問はございますか。

(高増会長) 事業報告の後で確認すればよかったが、井上コレクション（アジア博物館展示予定）の点検作業の記載があったが、開館時期は決まっていますでしょうか。

(美：中村館長) 現段階では、4月末頃開館の予定。

(事務局) アジア博物館側の事情もあり、最終段階のところでなかなか進んでいない。何とか予定どおり開館できるよう働きかけたい。

(高増会長) 寄贈者（井上氏）への状況説明も、お忘れなくお願いします。

(鐘築委員) 「草間展」について、入場者見込みが15,000人と予測されているが、見込みが低すぎるのではないのでしょうか。コロナ過で、都心に行けない状況のなか、多くの方が来場されると思いますので、「チームlab」で実施した商店街（周辺地域）との連携を図るなどして、市街化地域活性化に繋がらると考えますが。

(美：中村館長) 見込み以上の入場者を期待しています。土日は更に多くの入場者となる可能性があるため、入場制限なども検討しなければと考えています。商店街との連携についても、新日本海新聞社と協議相談し検討したい。

(三浦委員) 「草間展」がメインの展覧会で、多くの入場者も予測されるので、新型コロナウイルス感染症感染対策をしっかりとしないといけないと考えますが。

(美：中村館長) 感染拡大による自主的に休館とした施設はあったが、幸い全国的に美術館（博物館）施設では、静かに鑑賞する施設なので、新型コロナウイルスの感染発生によ

る休館はなく、通常の入場者数であれば大丈夫かと考えていますが、「草間 展」は多くの入場者が予測されるため、注意していきたい。

(三浦委員) ツイッターについて、SNS 利用での宣伝は有効だと思います。ツイッターだけでなく、ビジュアル的に考えるなら、インスタやフェイスブックの方が効果的だと思います。デジタルコンテンツを利用した宣伝は、思いのほかコストも安く抑えられて、効果も大きいので利用されてみてはよいかと思います。広報エリアなどの指定もできるので。あと、データベースについては管理上のものでしょうか。

(美：青戸副館長) はい。管理するためのデータベースです。

(中澤委員) 画像データについて、収蔵品画像データだけでなく、たとえば、「共に生きるアート展」の期間中行われていた、作品の人気投票で人気のあった上位作品などの画像データを残したらよいのではないのでしょうか。

(美：青戸副館長) 収蔵品データが優先となりますが検討していきたい。著作権など、クリアしなければいけない点もあるので。

(高増会長) リファレンス対応について、どのような感じでしょうか。

(美：青戸副館長) 美術館では真贋についてはお答えしていないが、そのような問い合わせもあります。美術館学芸員がお答えできる可能な範囲で回答している。件数としては、統計はとっていないが、月に数件は必ずあります。

(高増会長) 年報の発行も予定されているが、どのようなものを考えておられますか。

(美：青戸副館長) 予算的などところと相談しながら、検討していく予定です。

(高増会長) ありがとうございます。その他、ご意見質問はありませんか。ないようでしたら、議題 (3) のその他で、何かありますでしょうか。

(高増会長) では、美術館より令和 2 年度の寄贈関係について説明があるようなので、お願いします。

(青戸副館長により、令和 2 年度寄贈予定作品についての説明を行う。)

(高増会長) その他、何かございますか。ないようですので、これで全ての議題が終了い

たしました。美術館協議会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会（15：10）